

## 奥日光・山王帽子山(2,077m)戦場ヶ原スノーシュー

# 雪山交流バスハイキング報告

期 日 3月 5日(日) 日帰り バス利用  
集合 三郷駅北口 6:00 南浦和駅西口 6:45  
場 所 奥日光・山王帽子山(2,077m)戦場ヶ原スノーシュー  
参加費 5,000円  
参加者 三郷山の会(11) わらび山の会(9) 紫翠山岳会(3) あすなろ山岳会(3)  
くまざさ山岳会(1) 登山学校(1) 合計 28名



小田代ヶ原展望台で

毎年恒例となったブロック雪山交流は奥日光光徳牧場～山王帽子山登山と戦場ヶ原スノーシューを実施した。参加者は28名！三郷を始発に南浦和で全員を乗せ一路奥日光へ…。

天候は上々で、途中高速道路から前には日光連山が大きく見えて白く輝いている。

バスは日光有料道路・清滝ICからいろは坂を登り始めるが、山の斜面には雪が少なく少々不安になる。3月ともなれと雪解けは早いもので、もうすっかり春山の気配すら感じる！

中禅寺湖を過ぎて、戦場ヶ原に入る頃には少しずつ雪の量も増え、三本茶屋に着く頃には一面の雪原に安堵する。予定通りに行動する事にしてスノーシューをレンタル、光徳牧場の半分の1,000円/日で借りられた。

そのまま、光徳入口バス停で戦場ヶ原スノーシュー参加者を降ろして貰い、山王帽子山と登山組はバスで光徳アストリアホテルに向かう！



歩き終えて、三本松茶屋から男体山

鹿ネット沿いに北上して、逆川の小さな流れの沢あたりで左上に木道沿いに進む。雪量は少なくツボ足でも歩けそうだが、それでも皆んなスノーシューでの雪上歩きの感触を確かめながら楽しそうに歩いている。

逆川橋から15分も歩けば視界が開け、左手に一面の雪原が広がり北戦場ヶ原の湿原だ。振り返ると男体山～太郎山、大真名子山等の山々も青い空の下で白く雄大に望める。さっそく皆んな思い思いに記念写真を撮りあい、先に進む。

北戦場ヶ原からシラビソの樹林帯に入ると湯の湖と光徳分岐で、ここから左へ少し下るようにして湯川にかかる小田代橋を渡り窪地状の沢を登りかえすと泉門池で、ベンチ等があり休憩場所にもなっている。皆んなは休憩もせず先を急いでいるみたいだが、私はベンチで池の中で泳ぐカモ等の写真を撮りながら追いついた。泉門池の少し先で、あおき橋を通る湯川自由研究路の分岐となるが、私達は小田代ヶ原へ向かう。

分岐から右手の緩斜面の林の中を登って行くが、この頃から反対側から来るハイカー一団に出会うようになる。疎らな林の中はどこでも歩ける位の雪原で時々登山道をそれて歩いてみるも、先ほど湿原の中で「木道を外れないで歩いて下さい」と注意された事もあり、すぐに戻った。

やがて、また左手が大きく開けた小田代ヶ原に出る。ここも北戦場ヶ原よりもさらに展望は良く、一面の雪原が広がる小田代ヶ原の向こうに男体山から太郎山・山王帽子山等が山々が続く。

### 【記録】 ①戦場ヶ原スノーシュー コース 16名

光徳入口でスノーシューを装着し、準備体操をして出発！

少しでも近道しようと思い、トレースを頼りに逆川橋の先で流れを渡りかえして反対に出て、ここから鹿よけネット沿いに進むもネットが張りめぐられていて中に入らず、仕方なくバス停前近くまで戻った。

湯元方面のバス停と逆川橋の間にある大きな案内板が設置された戦場ヶ原入口があり、道標にしたがってズミ林内の戦場ヶ原ハイキングコースに入る。(約30分のロス)



戦場ヶ原へ



北戦場ヶ原に行く



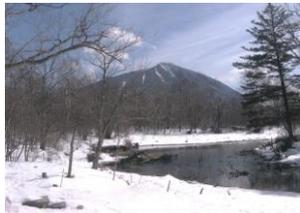
男体山と大真名子、他



湯の湖・光徳分岐から湯川の流れを小田代ヶ原橋で渡り

泉門池前で

男体山を後に 北戦場ヶ原で



泉門池と男体山

小田代ヶ原分岐で

小田代ヶ原湿原に行く

小田代ヶ原休憩舎で わらび山の会



小田代ヶ原休憩舎で 紫翠山岳会 あすなの仲間

小田代ヶ原を後に

小田代ヶ原周回コースの木道のほとんどは雪ですっぽり覆われ、地面との段差が少なく雪で見えなくなっている  
ので、杭に沿って歩き小田代ヶ原展望台に到着。

無雪期に赤沼からの低公害バス道路が通る展望台休憩所は、冬でもここまで除雪されているがトイレは閉鎖され  
使用できず、隣の休憩舎や暖かな陽だまりの駐車場で昼食とした。

休憩後、小田代ヶ原周回コースから除雪されている林道に一回合流して、再び戦場ヶ原から赤沼への散策路に入  
る。2つ目の防鹿柵のゲートを潜ると湯滝方面への林道に合流し、赤沼バス停の方へ向かう。  
最後の戦場ヶ原展望所から緩やかな上りの傾斜道となり、気持ちのいい森の中を進む。やがて赤沼としゃくなげ  
橋・平滑の滝上への分岐を見送り、さらには湯川の流れなかかる橋を渡り湯滝からの自由研究路と合流して、まも  
なく赤沼バス停前に出た。

予定では光徳牧場までスノーシューで歩くつもりだったが、皆んな疲れたのか赤沼に着くなりスノーシューを外  
して休憩した後、三本松茶屋までの車道を歩き出す。仕方なしに三本松茶屋でスノーシューを返却し、ここで行動  
を終了。後は山王帽子山登山組と連絡をとり、バスが来るまで皆んな茶屋で喉をうるおしながら休憩して、バスの  
到着を待った。

ほどなくバスが到着して合流し、帰りは言うまでもなく「バスは走る宴会場」と化しておおいに盛り上がり、渋  
滞もなく予定通り三郷駅に20時前に到着。さらには南浦和駅で下車した後にはまたまた2次会で、夜遅くの帰宅  
となってしまいました。こうして楽しい南部ブロック雪山交流会を無事終えました。

澤藤 記



小田代ヶ原展望台前で



小田代ヶ原をバックに



登山学校OB Tさん



湯川を渡り、赤沼バス停へ



赤沼から三本松茶屋へ



三本松茶屋で喉を潤して



【記録】 ②山王帽子山登山 コース

2月の下見山行では林道を経由して山王峠までしか登れなかった事から、今回は山王帽子山を往復出来るように行動時間に配慮したつもりだったが、やはり時間切れで今回も山頂には至らずに終えた。

三郷山の会(9名)とわらび山の会(2名)くまざさ山岳会(1名)との混合パーティで、準備等で予定時間より遅れて出発。

日光アストリアホテルの駐車場からキャンプ場を通り、その奥の山王帽子山登山口までは比較的緩やかな林の斜面で、雪もツボ足で歩けるくらいに締まっていて足慣らししながら楽に登れた。

登山口からは各自持参のスノーシューやワカンを履き、一路山王峠を目指す。トレースはあるものの傾斜も増してきて、おまけに天候も晴れて暑く汗をかくほど!

沢沿いの緩斜面を登りつくと平らな森林帯に出て一休み。さらに急斜面を喘ぎながら上りきると山王見晴らしに11時30分着いた。

ここからは、涸沼の深い窪みを隔てて於呂俱羅山が屏風のように聳えているのが見える。また、これから登る山王帽子山も目の前に見えるし、樹林の間や上には三つ岳の向こうに金精山から日光白根山や皇海山の稜線、男体山の山頂部が見えている。

山王見晴しから右に折れて山王林道に出て、光徳の方に少し戻ると山王帽子山の登山口になる。ここから山王帽子山へは、針葉樹林の中の急登で雪も少し深くなって登り応えがありそうだ。時間的には山王帽子山山頂を往復するには無理と判断して、時間的に登れる所まで登る事にしてリーダーを先頭に何人かで取りつくが、展望のない樹林帯の登りがしばらく続き、時間切れとなって引き返す事にして、見晴しのいい先程の涸沼分岐のある旧山王峠で、山々を眺めながら遅い昼食とした。

昼食後は、思い思いに緩斜面で滑って遊んだり、程よく固められた雪道をのんびりと下り、自然界の英気を体内に一杯受けながらバスの待つ光徳登山口駐車場14時50分に着いた。

山王帽子山は登れなかったが、それでも楽しく充実した一日に感謝しています。お疲れ様でした。

三郷山の会 富田



キャンプ場登山口で



ちょっと一休み



山王見晴近く 緩斜面の登り



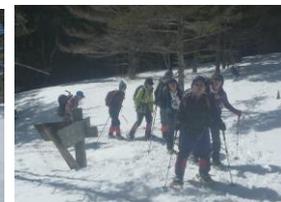
雪も締まり歩きやすい



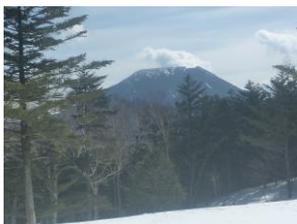
急斜面を喘いで登り



山王見晴の分岐はすぐ



山王見晴到着



男体山山頂



山王帽子山山頂



於呂俱羅山



山王林道分岐



山王見晴し分岐で



山王見晴で昼食



日光白根山



金精山と三つ岳



下りは滑らないように慎重に



また大胆に



平坦地では思わぬ落とし穴も・・・



帰りのバスの中では 各コースの報告と感想を述べてもらい  
少しお酒もいただいて 楽しい交流バスハイクとなりました。



三本松茶屋から金精峠方面



最後に南浦和で

【コースタイム】

三郷駅北口＝南浦和駅西口＝羽生 SA＝宇都宮 IC＝三本松茶屋＝光徳温泉アストリアホテル  
6:10 発 6:45～7:10 7:45～8:00 8:40 9:30～50 10:10

- ①山王峠～山王帽子山 (2,077m) 登山 歩行時間 3.5時間 CL 尾手  
光徳温泉…登山口……山王峠……山王帽子山登山……山王峠……光徳温泉  
10:40 10:50～11:00 12:05～10 ~12:45 13:15～45 15:00～05
- ②戦場ヶ原周遊クロスカントリー、スノーシュー 歩行時間 3.5時間 CL 伊藤  
三本松茶屋…光徳入口…泉門池…小田代ヶ原…赤沼分岐…赤沼…三本松茶屋  
10:00 10:20 11:35 12:20～13:00 13:40 14:00 14:30～15:10

光徳温泉＝三本松茶屋＝日光 IC＝宇都宮 IC＝佐野 SA＝蓮田 SA＝三郷駅北口＝南浦和駅  
15:00 15:10～30 16:10 16:40 16:45～17:00 17:50～18:15 18:40～50 19:35 着